

「ひろばポラリス」整備

みんなの学び場「ひろばポラリス」整備事業

公益財団法人
(助成) あすなろ福祉財団



あすなろ福祉財団にご支援をいただき、調理スペースを整備することができました。



ひろばポラリスで使う家具をメンバーと一緒に組み立てることから始めました。



改修工事から看板設置まで、岩崎さんと藤装建（株）にご協力をいただきました。



ポラリス隣の空き店舗をお借りし、地域づくりのプラットフォーム「ひろばポラリス」の整備が始まりました。

4月	(あすなろ福祉財団助成+自己資金) ・コンサルタント(岩崎岳さん)委託 ・改修工事委託 ・調理実習室内装工事 ・エアコン移設・電気工事 ・IHクッキングヒーター設置・電気工事 ・居室内既存全壁面キッチンパネル貼 ・備品(IHクッキングヒーター・レンジフード)設置
6月	(自己資金) ・調理実習室(食事管理と調理指導)で活動するために必要な器具・備品を整備する。 ・多目的室(障害者の学びや余暇活動の場／接客訓練・地域交流／個別面談／コミュニティカフェ)で活動するために必要な備品を整備する。
7月～	・「ひろばポラリス」看板設置

◎新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、活動できるスペースを増やす事ができました。

◎ガラス越しに外から見えるフリースペースで障害のある人もない人もゆったりとリフレッシュできるようになりました。

福島県と接する宮城県山元町は、東日本大震災の津波で約4割が浸水して600人以上が犠牲となり、人口流出が加速しました。震災発生時、町の障害者施設で働いていた田口ひろみさんは、災害時の障害者福祉の難しさを痛感したといいます。田口さんは、障害のある人が生きる力を取り戻して自分らしく生活し、地域の一員として町の復興にも参加することで、住民皆が真に支え合えるまちづくりにつなげようと、特定非営利活動法人ポラリスを同町で設立。ことし7年目を迎えました。

代表理事の田口さんを含めスタッフは8人で、障害者約20人が通っています。障害者の就労・相談支援事業のほか、地域住民と活動する場づくりに力を入れています。町の社会教育施設を活用し、防災や地域共生社会をテーマにした生涯学習プログラムを実施。田口さんは「障害者、地域住



特定非営利活動法人ポラリス



「ひろばポラリス」でのオープン記念イベント＝9月20日

民 行政職員といった多様な人が集い、触れ合う機会がほとんどなかった。参加者の反応から相互理解につながっていると実感する。ポラリスに通う利用者の多くは口頭、絵や刺しゅうなどそれぞれの得意分野で作品を作り、アート活動が障害者と地域をつなぐ接着剤のような役割も果たしています。2016年にはJR常磐線の内陸移設で新しくなった山下駅周辺で壁面を制作。場所を提供した地元スーパーをはじめ学校、い。人がつながり、支え合

他団体などの協力の下、地域住民も参加して完成させました。

町復興に障害者活躍

参考情報
 特定非営利活動法人ポラリス
 住 所 宮城県山元町高瀬字合戦原72の64
 ホームページ 「特定非営利活動法人ポラリス」で検索
 電 話 0223(36)7410

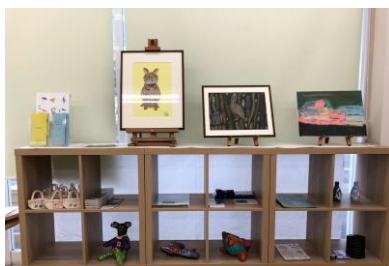
「障害者の活躍の場であるとともに、ただいだける場所を提供した地でもいい自由な場所にした元スパーをはじめ学校、い。人がつながり、支え合

う場になれたら」と田口さん。利用者の一人、大友浩一郎さんのイラスト展がオープンイベントとして今月上旬まで開かれ、多くの人が足を運びました。大友さんがクイズや即興イラストを交え動物の豆知識を楽しく解説するトークイベントもあり、会場は大いに盛り上がりしました。

2022年10月24日 河北新報 夕刊



やまと広報からの取材を受けました



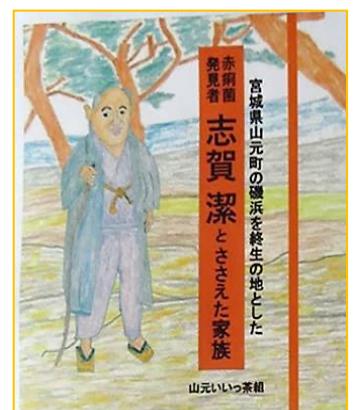
メンバーのアート展示コーナー



自分の絵を見ていただきながら楽しく交流できました。



ひろばポラリスにアート作品を展示しています



出版物のイラストを担当



アート作品の販売

障害のある人となない人が共に取り組む地域づくりプロジェクト

2022年7月～12月

ひろばポラリスと屋台ポラリスを活用して、各種ワークショップや交流活動、コミュニティカフェを企画開催しました。延べ1,108名が参加しました。



ひろばポラリス (参加者のべ460名)



アート展「百獣画録」展開催
8/17～10/10 (来場者のべ250名)



シルクスクリーンで
アートな作品作り
(参加者のべ24名)



園芸講師の向井さんと
ひろばポラリスの
花壇用のひな壇づくり



ひろば花壇づくりワークショップ (参加者のべ41名)

屋台ポラリス (参加者のべ294人)

参加者の感想

「ひろばでは、いろんなお客さんとお話をした。お客さんとの距離が近くなり、しっかり挨拶できるような気がする。大友さんのアート展ではお客さんが「(この動物は)どんな声ですか?」と聞いていたのを覚えている。屋台ポラリスの時は、お客さんにお茶を出したり絵を描いて見せたりした。お客さんから「いいね!」と言われると嬉しいし、また描きたくなる。今度はうさぎさんを描きたい。」
(門間美佐子さん)



フレスコ山下駅前壁画前 10/4 10/19 11/30



風の章ガーデン 11/18



徳本寺 12/3



つばめの杜西地区集会所 12/18

「土曜ひろばポラリス」による休日の居場所&相談の場づくり

2022年8月～2023年3月

 居場所を失った人への
緊急活動応援助成

休日の居場所や相談できる「土曜ひろばポラリス」をスタートしました。

期間中27回開催し、居場所として、102人（延べ425人）が利用し、24人（延べ133人）のボランティア、20人（延べ61人）の専門スタッフのご協力をいただきました。



コミュニティナースのワークショップ@ひろばポラリス



お昼ご飯を作ろう@ひろばポラリス調理室



将棋

土曜ひろばポラリスの感想

ホッと心穏やかに過ごせた
お昼ご飯を食べるのも楽しかった
おしゃべりも楽しかった
これからまたおしゃべりを楽しみたい
おしゃべりも楽しかった
おしゃべりも楽しかった



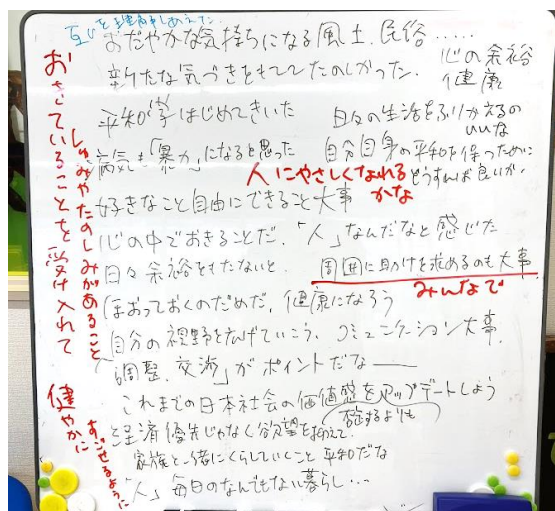
洗顔&メイクのワークショップ



新春書初め@屋台ポラリス



対話と学びの場「平和学」@ひろばポラリス



休日に利用できる居場所や相談できる場所づくりの実践内容から見えたニーズについて行政に共有し、2023年度から「ひろばポラリス」は、町の障害者地域活動支援センターの指定を受け、山元町のオフィシャルな地域活動支援の場となりました。